留学体験記

2018/09 ～ 2019/08

文藻外語大学 1808003 顏煒皓（ガンイコウ）

中学校の時から日本のアニメが好きで、高校に入ってから日本語の勉強をし始めた。大学にいるときは、もともとは交換留学のことを考えもしなかった。しかし、ある日こんな声が心の中に浮かんできた。それは「何年間も日本語の勉強をして、日本に行かないのか？」という声だ。こうして交換留学をする決心をした。

鹿児島に来たばかりの頃は、すごく緊張した。日本に来ることは初めてで、実際の日本人がこんな速いスピードで話すとは思わなかった。幸いなことに、学校の先生はいつも優しくて、ゆっくりとしたスピードで話してくれて、わからないことを丁寧に説明してくれた。非常に助かった。

日本に来てから、言語環境に浸ることができたおかげで、日本語の能力が徐々に高くなったという実感がした。台湾にいる時より、文書を読むスピードや聞き取りの正確さやより正しい発音を習得できたと思う。

鹿児島に来てから、一番気に入ったのはここの自然環境である。山と海が近く、いたるところ自然の美しさを楽しめる。不愉快な時や気分転換をしたい時、いつもの環境から逃れ、豊かな自然に浸れることが良いと思う。

家を出て、一人で暮らすことは初めてではないが、同じ母語ではない環境で、一年間も過ごすことは初めてだ。留学することで、自分の視野を広げられて、台湾にいる時より、価値観や考えが少しずつ変わっていった。色々な人と触れ合うことで、多様な価値観を知ることができ、自分の世界観を広げられた。

一年間の交換留学もまもなく終わる。ここでの一年間はあっという間で、今までの人生にとってほんの一部だが、大きな影響を受けたことは確かである。ここで体験したり、習得したりしたものはすべて種となり、これからの人生をより一層豊かにすると信じている。輝かしい未来を作ることは容易ではないが、これらの経験を活かし、次の新たなる一歩を踏み出すことができると確信している。